

北九州市「青少年の非行を生まない地域づくり」推進本部
令和6年度「『非行防止』対策」「『立ち直り支援』対策」合同部会

日 時:令和6年2月26 日(水) 14:00～15:00

場 所:北九州市生涯学習総合センター 21学習室

参加者

1 非行防止対策部会

北九州市少年補導委員連絡協議会、北九州地区(市)少年補導員連絡協議会
教育委員会少年サポートチーム、

2 立ち直り支援対策部会

福岡県協力雇用主会北九州支部、小倉公共職業安定所(ハローワーク)
産業経済局雇用・産業人材政策課、

3 非行防止対策部会・立ち直り支援対策部会のどちらにも所属

北九州市保護司会連絡協議会
特定非営利活動法人日本ガーディアン・エンジェルス北九州支部
福岡県警察本部北九州少年サポートセンター、福岡保護観察所北九州支部
小倉少年鑑別支所、総務市民局安全・安心推進課、教育委員会生徒指導課
子ども家庭局子ども総合センター、子ども家庭局こども若者成育課

会議の概要

1 北九州市における少年非行概況

子ども家庭局こども若者成育課から、本市の令和6年中の少年非行概況の説明を行った。

2 推進本部事業の進捗

子ども家庭局こども若者成育課から北九州市「青少年の非行を生まない地域づくり」推進本部事業の進捗に関する報告を行った。

3 各機関における取り組みについて

○北九州市少年補導委員連絡協議会

地域でのパトロールを行っている。

令和6年10月からは、花尾中学校(八幡東区)から依頼を受け、部活動後の帰宅生徒の見守りを行っている。

○北九州地区(市)少年補導員連絡協議会

北九州地区では422名の少年補導員が活動している。

街頭補導や有害環境浄化活動に加え、少年非行防止大会等を実施し、少年の非行防止に努めている。

○北九州市保護司会連絡協議会

社会を明るくする運動や作文コンテストを行っている。
保護司の数が不足してきていることが課題である。

○福岡県協力雇用主会北九州支部

犯罪・非行の前歴のため定職に就くことが困難な方を、その事情を理解したうえで雇用し、改善更生に協力している。
北九州市では300社の民間事業主に協力してもらっている。

○特定非営利活動法人日本ガーディアン・エンジェルス北九州支部

市内に10代～20代の女性をターゲットにした「アミューズメントバー」(営業時間：21:00～24:00)という店舗の出店が目立っている。夜間に女性トラブルが発生しないよう、注意・警戒が必要である。

○福岡県警察本部北九州少年サポートセンター

小・中学校の検挙件数は減少しているが、それより上の年代の少年非行件数が増加している点や、少年の大麻使用が見受けられる点が課題である。

○福岡保護観察所北九州支部

犯罪・非行の地域相談窓口「リスタポ」を設置しており、地域社会で生きづらさを抱えている本人やその家族、支援者の方から困り事や悩み事等の相談を受け、相談内容に応じた支援を行っている。

○小倉少年鑑別支所

小・中学校にパンフレットを配布したり、出向いて講演をしたりしている。
今年度は304校で講演をさせてもらったが、マンパワーが限られていることもあり、来年度は講演に行く学校数の調整が必要になると思われる。

○小倉公共職業安定所(ハローワーク)

令和5年度から、再就職に向けた課題解決支援窓口である「サポートコーナー」を設置することで、マンツーマンでの一貫した支援を行いやすくなった。
非行少年支援に関する関係団体や、関係行政機関との連携はほとんどないため、連携を深めていきたい。

○産業経済局雇用・産業人材政策課

令和5年度の若者ワークプラザ北九州を9,284人の方が利用し、935人の就職に繋がっている。
施設の認知度があまり高くないため、認知度の向上が課題である。

○教育委員会生徒指導課

校内暴力や器物損壊といった事例は減少している一方で、インターネットやSNSで繋がった人のもとに行き、非行問題行動を起こしてしまうケースや性被害に遭ってしまうケースが増加している。
インターネットに関する監修に学校として単独で取り組むことは難しいため、関係機関の皆様と協力をしてもらいながら啓発活動をしている。
「誰とも」「どことも」繋がっていない子どもたちを作らないようにしたい。

○教育委員会少年サポートチーム

教員OB2名、警察OB2名の計4名で活動。

教育委員会生徒指導課から派遣の要請を受け、子どもたちの指導方針を立て、子どもたちを守る活動を行っている。